



発達障がい児・者支援者研修のご案内

日時：7月8日（日） 10:00～16:00
 会場：奥出雲町カルチャープラザ仁多（奥出雲町三成 436）
 内容：①基調講演（講師：諏訪利明氏／川崎医療福祉大学准教授）
 ②対象 発達障がい児・者に関わる支援者の方

○発達障がい基礎講座のご報告○

夏至を過ぎ、一日を長く感じるようになり、何だか少し落ち着ける気がするこの頃です。
 今年の「発達障がい基礎講座」は、皆様の希望も強かった出雲市で初めて開催させていただきました。朱鷺
 会館を会場に延べ400名を超える皆様に参加していただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、最近よく「グレーゾーン」ということばを耳にするようになってきました。
 そもそも、どういう状態のことを指すのでしょうか？皆さんご存じのように、
 発達障がいは脳の発達に偏りがあるのが特徴です。そして、その「程度」には個人差が
 あります。白黒はっきりつけがたいところに発達の状態が横たわっているので
 「グレーゾーン」と呼ばれるようです。こうした研修を通して、発達障がいについて
 より理解を深めていただくことを願ってやみません。



センター長 石橋美恵子

親の会の活動

7月	8月	9月
12日（木）自閉症協会雲南支部 場所：つつじホール 時間：10：30～13：00 18日（水）自閉症協会松江支部 場所：総合福祉センター 時間：10：00～12：00	2日（木）自閉症協会出雲支部 場所：療育センター燦々 時間：10：30～13：00 15日（水）自閉症協会松江支部 場所：総合福祉センター 時間：10：00～12：00 1日（水）手をつなぐ育成会 「いいともおやとも子育て講座」 場所：川津公民館 時間：10：00～12：00 22日（水）手をつなぐ育成会 「いいともおやとも子育て講座」 場所：母衣小学校 時間：10：00～12：00 23日（木）ひだまりの会（定例会） 場所：いきいきプラザ401 時間：14：00～16：00 ※希望者は連絡下さい。	13日（木）自閉症協会雲南支部 場所：つつじホール 時間：10：30～13：00 19日（水）自閉症協会松江支部 場所：総合福祉センター 時間：10：00～12：00 12日（水）手をつなぐ育成会 「いいともおやとも子育て講座」 場所：放課後デイサービス 時間：未定

+ + ウィッシュ医療相談

診断・投薬はできませんが、医療に関わる心配ごとを相談できます。

月	日	担 当 医 師	場 所	時 間
7 月	13 日 (金)	島根大学付属病院 長谷川有紀先生（小児科）	《雲南会場》 雲南市役所	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	17 日 (火)	医療法人青葉会松江青葉病院 藤本昌彦先生（精神科）	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	23 日 (月)	いしいクリニック 石井尚吾先生（小児科）	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	25 日 (水)	島根大学付属病院 松田泰行先生（精神科）	《出雲会場》 出雲保健所	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
8 月	1 日 (水)	島根大学教育学部 稲垣卓司先生（精神科）	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	6 日 7 日	島根大学附属病院 松田泰行先生（精神科）	《隠岐会場》 調整中	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	8 日 (水)	きむらこどもファミリークリニック 木村正彦先生（小児科）	《出雲会場》 出雲保健所	① 15:30～16:30 ② 16:30～17:30
	9 日 10 日	いしいクリニック 石井尚吾先生（小児科）	《隠岐会場》 隠岐合同庁舎	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	23 日 (木)	島根大学教育学部 稲垣卓司先生（精神科）	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	24 日 (金)	鳥取大学医学部 兼子幸一先生（精神科）	《安来会場》 安来中央交流センター	① 14:00～15:00 ② 15:30～16:30
	29 日 (水)	島根大学附属病院 松田泰行先生（精神科）	《雲南会場》 雲南市役所	① 14:00～15:00 ② 15:30～16:30
9 月	3 日 (月)	いしいクリニック 石井尚吾先生（小児科）	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	10 日 11 日	島根大学附属病院 長濱道治先生	《隠岐会場》 調整中	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	14 日 (金)	島根大学付属病院 小池昌弘先生（精神科）	《出雲会場》 出雲保健所	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	18 日 (火)	医療法人青葉会松江青葉病院 藤本昌彦先生（精神科）	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	27 日 28 日	いしいクリニック 石井尚吾先生（小児科）	《隠岐会場》 隠岐合同庁舎	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	28 日 (金)	島根大学附属病院 長谷川有紀先生（小児科）	《出雲会場》 出雲保健所	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00

- *予約制です（お一人 1 時間弱）。医師定期相談は医療にかかっていない方を優先させていただきます。
- *医師が必要と判断した時は発達障がい専門的な検査を行うこと可能です。そのため、相談には臨床心理士が同席させていただきます（詳細はお問い合わせください）
- *医師との相談後、発達障がいに関する支援が必要であれば引き続きセンターでご相談もできます。

私の物語 ～気づき編～

私が小学校 5 年の時に、高機能自閉症という診断を受けました。中学校からは特別支援学級に通うことになりました。中学時代も小学校の頃のように他の生徒に対して強い恐怖感をもっていましたので、生徒が授業中の朝 10 時頃に登校して授業が終わる前の 14 時 30 分頃に帰っていました。

地域の人にも恐怖感を持っていたので、小学生の頃のように親に送り迎えをしてもらっていました。

昼休み中はクラスから出ることが出来ませんでした。清掃時には他のクラスの生徒が入ってくるようになっていたので、特に嫌でテラスや隣の空き教室に隠れている始末でした。

中学 3 年生になると、進路先になりそうな学校である、松江養護学校、松江緑が丘養護学校、穴道高校等の見学会に行きました。

私はこの頃、「今の生活をそのまま続けていけば、将来は暗い」と考えるようになり、生活改善に努めるようになりました。

私は中学 2 年までは自転車に全く乗れませんでした。支援学級の先生と一緒に校庭を使って自転車の練習にはげみました。今は、毎日、自転車に乗っていますが、それは当時の先生の協力が無ければ出来なかったことです。また、今までやってこなかった勉強にも力を入れるようになりました。放課後の 18 時前まで先生に教室に残ってもらい、中学の教科書を一から学習しました。家でも少なくとも 2 時間、多いときで 4 時間勉強しました。今はもう忘れてしまいましたが、苦手だった数学が 2 次方程式まで出来るようになりました。この積み重ねは後々、資格取得をする時に非常に役に立ちました。他のクラスとの交流行事はなかなか出席することはできませんでしたが、最後の最後に卒業式へ出席することが出来ました。私の中では中学最後の 1 年間は自分を変えていくための重要な 1 年でした。

○次回は石倉さんの高校時代のエピソードについて紹介させていただこうと思っています。少人数のクラスであり、居心地の良い環境の中で自己理解を深め、一般就労に向けての取り組みについて触れてみたいと思います。(川上)

発行元*

「島根県東部発達障害者支援センターウィッシュ」

TEL 050-3387-8699/FAX 050-3730-9745

〒699-0822 出雲市神西沖町 2534-2 (さざなみ学園内)

E-mail:wish@sazanami-g.jp

担当:高田 編集長:川上